

令和３年度第６回川崎市子ども・子育て会議 計画推進部会 議事録

■ 開催日時

令和４年１月１７日（月）１８時３０分～

■ 開催場所

ZOOM によるオンライン会議

■ 出席者

（１）委員

村井部会長、一瀬委員、稲富委員、丹野委員、坪井委員、芳川委員

（２）事務局（こども未来局企画課）

川戸課長、浅水課長補佐、筒井職員

■ 配布資料

資料１ 第２期川崎市子ども・若者の未来応援プランに関するパブリックコメント結果と主な変更点について

参考１ 「第２期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」（素案）に対する意見募集の実施結果について（案）

参考２ 第２期川崎市子ども・若者の未来応援プラン（案）

参考３ 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会委員名簿

参考４ 川崎市子ども・子育て会議計画推進部会行政出席者名簿

参考５ 川崎市子ども・子育て会議条例

■ 傍聴者

０人

１ 開会

- ・事務局あいさつ
- ・次第、資料、定足数（部会の成立）確認

※摘録につき「である」調で記載しています。以下、ポイントを抜粋して記載。

２ 議事１「第２期川崎市子ども・若者の未来応援プラン（案）」の策定について

（１）パブリックコメントの結果について

資料１に基づいて事務局から概要説明。

⇒委員からの質問・意見等なし

（２）第２期川崎市子ども・若者の未来応援プラン（案）について

資料１に基づいて事務局から概要説明。

《主な質疑等》

- 委員 前回の子ども・子育て会議の総会で、特に教育の場での様々な社会サービスの周知について発言したが、修正がなかったのか。
- 事務局 前回いただいた御意見等については、教育現場において、社会的養育の子どもたちに関する制度等の周知が必要であるとのご意見をいただき、第６章の３の社会的養育推進計画に記載を加えている。（５）オの児童への措置解除に向けた支援に、「学校等と施設が密に連携を図り」という文言を、御意見を踏まえて新たに追加した。
- 委員 自治体としてのＳＤＧｓというのは、地域で暮らす人々が豊かに暮らすことができ、貧困などにおびえることなく豊かな生活ができ、地域の人たちとつながりを持って、地域が継続されていくことであるが、やわらかい、堅苦しいＳＤＧｓじゃない、地域の人々に分かるようなイメージがあるといいと思う。
- 事務局 直接ＳＤＧｓということではないが、３章に、新しく基本理念のイメージ図をつくったところである。子どもの福祉、教育について、「誰もが互いに助け合い・支え合えることのできるまちを目指します」という互助の考え方なども浸透させつつ、計画を推進していきたい。
- 部会長 第５章、子どもの貧困の取組の方向性３、イの相談・支援機関の連携の強化にある、要対協によるネットワークの強化と、児童虐待の未然防止等の推進と関係機関の連携の充実について、２つの内容がほぼ同じ、非常に近いので、これは１つの案件として、まとめて整理をしたほうがよい。
- 事務局 まとめて表現をしたほうが、より分かりやすいので、見直しさせていただきます。
- 部会長 同じく、第５章、子どもの貧困の取組の方向性４の中のウ学校教育の推進に、ＧＩＧＡスクール構想をしっかりと貧困対策としても組み入れて、新たな推進項目として、重要な貧困対策の一つとして、すべての子どもたちが、きちんと等しくＩＣＴを活用できるように、例えばコンピューターを自宅に持てない子どもたちにもコンピューターをしっかりと学ぶ機会や、Ｗｉ-Ｆｉが自宅で接続できない子どもたちに、ネット通信環境を保障するなど、未来への投資の仕組みを作っていく必要がある。
- 事務局 ＧＩＧＡスクールについては、貧困対策として、当然、基盤制度の充実の中には位置づけなければならないものであり、項目を追

加する方向で検討したい。

■ 閉会

- ・事務局あいさつ

以上